

【本年度の重点目標】

個を伸ばし、集団としての高まりを実感できる学校
(さらに ほめて もっと のぼそう)

学校教育目標 「一人一人が生き生きと輝き、知・徳・体の調和のとれた自律した子どもの育成」

【学校経営の基盤】

日本国憲法、教育基本法、学校教育法等の精神及び学習指導要領の趣旨に基づいた教育を推進し、生きる力を育み心豊かな人間性の育成を目指す教育を展開する。

学校教育は生涯学習の基礎作りであるという認識に立ち、体験的な学習や問題解決的な学習を重視しながら、一人一人に確かな学力と自ら学ぶ意欲や態度が身に付くようにする。

北九州市の学校教育の願いや平成30年度指導の重点及び「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」「北九州市学力・体力向上アクションプラン」「スクールプラン」をふまえ、子ども、保護者、地域の願いに応える教育を推進する。

【目指す子ども像】

わ	わになって	【いじめのない仲のよい子】
か	かしこく	【頭も心も体もかしこい子】
っ	強い心で	【がんばる子（自ら伸びようとする子）】
こ	根気強く	【あきらめない子】
+1		【笑顔いっぱい为学校をつくろう！！】

【具体的な子ども像】 ～凡事徹底～

広い心 ◎誰とでも仲良くする○協力して仕事をする
 健やかな体 ◎健康、安全に気を付ける○正しい食生活を実行する ○運動に親しむ
 豊かな創造力 ◎しっかり聞く(資料1)
 ◎本に親しむ◎家庭学習に取り組む ○意欲的に学ぶ
 自律と公共の精神◎自分から気持ちの良い挨拶をする ◎適切な言葉づかいをする
 ◎黙って掃除をする ◎名札、はし、マスクを忘れない ○時間を守る ○廊下を走らない(生活・学習がんばりカードの活用 手立て1)

【目指す学校像・教職員像】

○規律のある落ち着いた学校	●学校のきまりを守らせ、学習規律を整える教職員
○確かな学力・体力の向上を目指す学校	●教育愛に燃え、授業力向上を目指す教職員
○保護者や地域と連携し開かれた学校	●保護者や地域と連携を惜しまない教職員
○組織としての力を発揮する学校	●報・連・相そして、確認まで組織で対応する教職員

教育目標具現化の努力点・具体的方策

【学校教育目標達成の環境づくり】

- ① 支持的風土に支えられた学級づくり(学級集団づくり)
- ② 地域に開かれた学校(学習参観、開放週間、学校評価等)
- ③ 家庭との連携の充実(学級懇談会やPTA活動等への協力と参加、積極的な連絡や助言)
- ④ 地域の教育資源や教育力の有効活用
- ⑤ 地域と連携した防災教育の実施
- ⑥ 家庭や地域と連携した安全の確保(スクールヘルパー、ブックヘルパー、登下校安全指導、いっせいくんの活用)
- ⑦ 情報の発信(学校HP、学校だより、スマイル通信、学年・学級だより 家庭訪問等)

【教育活動の充実と規律ある学校生活づくり】

- ① 子どもの心の居場所づくり(担任、学年主任、支援加配、生徒指導主任、養護教諭、等による密接な連携と取組)
- ② 生徒指導の充実(共通理解と同一対応、早期発見と早期対応、危機管理意識(サシセソ)の高揚と問題事象への緊急対応)
- ③ 清掃指導や給食指導の充実(子どもと心の交流の場)
- ④ 小中一貫・連携教育の充実(企救中、北方小)
- ⑤ 学習機会の拡充と学習内容の定着(意欲的に取り組む家庭学習の工夫、補充・発展学習の工夫)、全国学調、北九州学調、CRT、わか塾の活用
- ⑥ 時代の変化に対応する資質や能力の育成(外国語活動、外国語科、情報処理、主体的・能動的学習の育成)

【授業力向上と職員のチームワークづくり】

- ① 全校体制で策定・実施・検証・改善のできるスクールプランの作成と推進(学力定着サポートシステムの活用)(資料2)
- ② 主題研究の推進(主体的・対話的で、深い学びを目指して)
- ③ 職員研修の充実(事務改善会議、体罰、飲酒運転、セクハラ等 不祥事防止、業務改善研修、LGBT(Q)の研修、学力・体力向上推進員の活用)(手立て2)
- ④ ワークラフバランスを大切にした職場(19時退勤を)
- ⑤ 確かな手ごたえを実感できる研修の充実(人材育成の研修)・学年会の設定・若年研修の充実(教職経験8年未満)
- ⑥ 小学校体育授業パワーアッププラン、1校1特色運動の活用

<道徳教育> (「特別な教科道徳」の全面実施)

- 思いやりの心を育む教育の充実(教科書の効果的な活用等)
- 自律性・自尊感情を育てる指導の充実(成果や頑張りをほめる)

<教科指導>

- 基礎的・基本的な内容の習得と思考・判断・表現等活用力
- 問題解決的な学習と生きる力の基盤となる「言語活動」の充実

<特別活動>

- 学級活動の充実(学級会を通しての自治的な実践と自己決定の重視)
- 子ども同士が触れ合う集会活動の充実(縦割りグループの活用)

<外国語活動・外国語科>

- コミュニケーション活動の楽しさ、ALTと連携した効果的な指導

<総合的な学習の時間>

- 若園小学校のプランを模索し、探究的な学習に取り組む

<健康・保健・安全教育>

- 発達段階に応じた系統的な健康・発育指導と日常の健康観察の徹底

<食育> ○給食指導、学級活動を中心に望ましい食習慣の形成

<生徒指導> 問題行動の早期発見と早期対応を基盤に
(ピンチをチャンスに!!組織で対応)(チームとしての学校)

○関連機関との連携及び、いじめ・不登校対応

○教育・就学相談の充実(管理職、特別支援コーディネーター、支援加配、生徒指導主任、学年主任、担任等)

<人権教育> 教育活動の基盤とし、全教育活動の中で

○学校や地域の実態をふまえた人権意識の高揚を図る

○人権感覚の育成に向けた指導内容の工夫(新版いのちの活用)

<特別支援教育>

○特別支援学級と連携し、自立活動を参考に適切な指導・支援を

○校内支援体制と情報の共有化を図る

(小倉南特別支援学校と連携の充実)

<防災教育> (避難訓練の実施)

○様々な自然災害を想定し、災害発生時の適切な行動がとれる児童

<キャリア教育>

○体験を通して、勤労観や職業観を育てる指導の工夫

<学校図書館教育>

○学習・情報センターとしての環境整備、蔵書点検

<環境教育>

○身近な環境問題に着目し豊かな感受性を育てる

<情報教育>

○情報活用能力の育成 ○情報モラルの指導の徹底

○ICT機器を活用した指導の工夫

<国際理解教育> ○異文化・自文化の理解と尊重を目的とした体験的な活動の充実○各教科、総合等と関連性

<50周年記念事業の財産の活用>

○シビックプライドを醸成(まず、4、5月校歌指導の徹底)(手立て3)